

報告事項エ

企画展「とっとりの乱世—因幡・伯耆からみた戦国時代—」の開催
について

企画展「とっとりの乱世—因幡・伯耆からみた戦国時代—」の開催について、
別紙のとおり報告します。

令和3年9月2日

鳥取県教育委員会教育長 足 羽 英 樹

企画展「とっとりの乱世—因幡・伯耆からみた戦国時代—」の開催について

令和3年9月2日
博 物 館

現在の鳥取県域にあたる因幡(いなば)・伯耆(ほうき)国の戦国時代史を総合的に扱った、初めての企画展を開催します。

この時代の因幡・伯耆国は、毛利氏・尼子氏・織田氏といった著名な戦国大名の勢力が接する「境目(さかいめ)」と呼ばれる地域でした。この境目は、強力な戦国大名のお膝元では見られない複雑かつ興味深い歴史の宝庫であり、全国的な戦国時代研究の中でも非常に注目されています。

近年の「新鳥取県史」の収録資料や最新の研究成果をもとに、応仁・文明の乱(1467年～1478年)の混乱に始まり、豊臣秀吉と毛利氏の講和の成立、乱世の終息の兆しを見せる「中国国分(くにわけ)」(1584(天正12)年)に至るまでの約100年間の歴史を紹介します。

<見どころ>

- ・ 県域を治めた領主のゆかりの品や、羽柴(豊臣)秀吉・毛利元就・吉川元春(きっかわ・もとはる)・山中鹿介(やまなか・しかのすけ)(幸盛(ゆきもり))などの著名な戦国武将に関わる重要な古文書・武器・肖像画を合戦・政治・経済・文化など様々な視点から鳥取県の戦国時代史を紹介
- ・ 戦国時代の武将たちの末裔たちが多い鳥取藩士たちのルーツを紹介
- ・ オンライントレーディングカードアーケードゲーム「三国志大戦」などの作品で知られる気鋭のイラストレーター・獅子猿(ししざる)氏の描きおろしによる武将像を展示
- ・ 城郭をドローンで空撮した映像や、合戦国の世界を再現した「甲冑ディスプレイ」を展示

1 会 期

令和3年10月9日(土)から11月7日(日)まで(29日間、休館日10月25日(月))

2 会 場

鳥取県立博物館 第1・第2特別展示室

3 主 催

とっとりの乱世展実行委員会(鳥取県立博物館、山陰中央テレビジョン放送株式会社)

4 協 力

鳥取県立公文書館・鳥取県埋蔵文化財センター・鳥取市歴史博物館

5 観覧料

一般700円(前売・団体・大学生・70歳以上500円)

(高校生以下、学校教育活動での引率者、障がいのある方・難病患者の方・要介護者等及びその介護者は無料)



山中幸盛(鹿介)

とっとり
とっとり
とっとり
とっとり
とっとり
天下の境目

令和3年度企画展

とっとりの乱世

因幡・伯耆からみた戦国時代

イラスト：獅子狼

2021 10.9 SAT >> 11.7 SUN

開館時間 ◆ 午前9時～午後5時 ※入館は閉館の30分前まで
休館日 ◆ 10月25日(月)

観覧料 ◆ 一般700円
20名様以上の団体・大学生・70歳以上の方 500円
前売500円(一般のみ)
※次の方は無料。高校生以下の方、
学校教育活動での引率者、障がいのある方、
難病患者の方、要介護者等及びその介護者

会場 ◆ 鳥取県立博物館 第1・第2特別展示室
主催 ◆ とっとりの乱世展実行委員会
(鳥取県立博物館、山陰中央テレビジョン放送株式会社)
協賛 ◆ 日本通運 モリックスジャパン 吉備総合電設
三和商事 TFC 鳥取県情報センター
協力 ◆ 鳥取県立公文書館・鳥取県埋蔵文化財センター・
鳥取市歴史博物館

鳥 取県を構成した因幡・伯耆国は山名氏・尼子氏・毛利氏・織田氏などの強大な勢力をもつ大名同士が人智の限りを尽くして競い合う、「境目」と呼ばれる紛争地帯でした。一方で、因幡・伯耆の人々もこの乱世に果敢に立ち向かい、克服しようとしました。因幡・伯耆国の100年にわたる戦国時代史と、鳥取藩主池田家とその家臣たちの戦国時代の履歴をご紹介します。本企画展では鳥取県にまつわる戦国時代の古文書・武具・甲冑・肖像画などを、新出資料も含め多数展示します。



池田輝政画像(当館蔵)

- ◆ プロローグ 乱世のはじまりと因幡・伯耆
- ◆ 1章 乱世に翻弄される因幡・伯耆
- ◆ 2章 乱世を克服する因幡・伯耆
- ◆ 3章 戦国期因幡・伯耆の文化・経済
- ◆ 4章 鳥取藩池田家・藩士たちの乱世
- ◆ 特別展示コーナー 戦国とっとりの合戦



毛利元就感状(山口博物館所蔵文書) / 山口県立山口博物館所蔵



鳥取県立博物館
TOTTORI PREFECTURAL MUSEUM



鉄鎧十二間筋兜(吉川史料館所蔵)



豊臣秀吉朱印状(鳥取加須屋家文書/個人蔵)

見どころ 躍動する甲冑ディスプレイ



見どころ よみがえる鳥取県の山城



見どころ イラストレーター 獅子猿の美しい武将たち



格闘画家(山館所蔵)



下坂本清合遺跡出土埋藏銭(鳥取県埋蔵文化財センター所蔵)

関連行事

因幡・伯耆国の戦国時代史の今

【シンポジウム】10月17日【日】14:00~15:30
鳥取県の戦国時代研究の近年の成果と課題を紹介いたします。【申込不要】

鳥取県立博物館 × 鳥取市歴史博物館 連携企画 二つの展覧会で見るとっとりの戦国時代

【歴史講座 & 展示解説】
【日時】10月17日(日) 市博編 10:00~12:00
【会場】鳥取市歴史博物館
【日時】10月24日(日) 県博編 10:00~12:00
【会場】鳥取県立博物館講堂・特別展示室
【定員】25名【要申込】県博編は10月7日(木)より予約受付、受付は実施館(県博(0857-26-8044)・市博(0857-23-2140))

講師：石井伸宏(鳥取市歴史博物館)、山本隆一朗(鳥取県立博物館) 鳥取市歴史博物館で開催する特別展「吉川経家と吉川家の名品〜吉川史料館名品展〜」とのコラボレーション企画です。担当学芸員がそれぞれの企画展で講座・展示解説を行います。

はじめてのお抹茶体験(幼児・小学生向け)

【歴史講座】10月31日【日】14:00~15:30
石臼でお抹茶をひき、お菓子とともにお茶を楽しみます。【要申込】10月14日【木】~

中国地域の戦国争乱と「境目」地域の民衆

【講演会】11月3日【水・祝】13:30~15:30
講師：山本浩樹(龍谷大学教授) / 当企画展のキーワードである「境目」「境目」研究の第一人者・山本浩樹先生に乱世を生きた人々と因幡・伯耆を含む中国地方の戦乱についてお話いただきます。【要申込】

花押のデザイン(定員20名)

【歴史講座】11月7日【日】14:00~15:30
戦国武将たちが文書に用いた手書きのサイン「花押」。花押について学びながら自分だけの花押をデザインして判子にしてみましょう。【要申込】10月21日【木】~

次回 東郷青児と前田寛治、ふたつの道
展覧会は 11月20日(土)~12月26日(日)

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため本展の会期や内容、関連イベントに変更が生じる可能性があります。最新情報は、鳥取県立博物館ホームページにてご確認ください。

交通のご案内

- JR鳥取駅からバスで
 - ①100円バス(ぐる梨(緑コース))で「①白旗園・県立博物館」下車すぐ
 - ②ループ副都心(②鳥取城跡)下車すぐ
 - ③④山・賀方方面行「西町」下車約400m
 - ⑤市内回り岩倉・中河原方面行「おらべ館前」下車約600m
- JR鳥取駅からタクシーで…約10分
- 鳥取空港から…鳥取駅連絡バスで「西町」下車約400m
- お車で…鳥取自動車道・鳥取ICまたは鳥取西ICより約15分

◎当館駐車場40台駐車可能 ※なるべく公共交通機関をご利用ください

〒680-0011 鳥取県鳥取市東町2-124
tel:0857-26-8042 fax:0857-26-8041
https://www.pref.tottori.lg.jp/museum/
E-mail hakubutsukan@pref.tottori.lg.jp

鳥取県立博物館
TOTTORI PREFECTURAL MUSEUM

日本通運
NIPPON EXPRESS

鳥取事業所 0857-28-0202